

南 発 第 680 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

神奈川県南足柄市長 沢 長 生



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

貴職におかれましては、日頃から道路行政に対しご尽力、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のありました、標記の件につきましては、別紙により提出いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

事務担当は産業建設部道路水路課
電 話 0465-73-8024(直通)

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

神奈川県 南足柄市

○現状	○課題
・本市は神奈川県の西端に位置し、都心から約80kmに位置する小都市であり、市域は、最高峰の金時山(1,213m)を中心として、東方の明神ヶ岳にのびる箱根外輪山と北方にのびる足柄山塊を両翼として扇形に開けた西高東低の地形であり、森林地域が約7割を占め平坦部は足柄平野の一部を占めております。 ・市周辺における広域幹線道路網としては、東名高速道路、国道255号及び246号、県道小田原山北線等があり、これらの道路との接続により東京、横浜方面へのアクセスは容易に出来る状況にあります。が、西に隣接する箱根町や静岡県方面は山に阻まれ一般通行が出来ない状況となっています、近隣市町との円滑な道路交通や防災及び観光振興の視点から箱根へ通じる道路整備が必要であることから県に要望しているところであります。 ・市内企業への大型車両のアクセスや市民生活における安全性・利便性の向上に向けて都市計画道路や幹線市道の整備を順次進めているところでありますが、近隣市町へ連絡の南北方向に走る広域幹線路線において、朝夕の通勤時間帯には交通混雑が発生し十分に機能してない状況にあります。	・市の西側一帯には、金時山・明神ヶ岳等の山が連なり交通が遮断されており、西側に隣接する箱根町及び静岡県へのアクセスが出来ない状況にあり、災害時に於ける避難路や輸送路の確保が重要な課題となっています。 また、市の観光資源である大雄山最乗寺及び観光ビール園や「あしがら花紀行」により観光客の誘致を図っているところでありますが、新たに富士箱根方面への回遊性のある新規ルートの創設により、多様化する観光ニーズに対応した広域的な観光ネットワークの形成を図ることにより、観光客の増加と観光産業の振興発展と地域の活性化を図る必要があります。 ・本市から東名高速や国道255号に連絡する東西方向の道路については着々と整備が進んでおりますが、南北方向の道路については整備が進展していない状況にあり、特に小田原市方面へ連絡の県道小田原山北線においては、朝夕は慢性的な渋滞が発生して、市民生活に多大な支障が生じており、当該道路の早期拡幅改修及び迂回路線の整備が必要となっています。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

神奈川県 南足柄市

・本市は山並みベルトが取り囲み、市域の7割を森林が占め山麓から市街地まで緑が続く、豊かな水と緑が織りなす歴史と伝統の都市であり、この豊かな自然を背景として地球環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

一方、県西地域における産業集積の高まり、通勤圏域の広域化を背景に良好な市街地形成のため、再開発事業や区画整理事業等を行い、快適な都市環境の基盤整備や商業・業務機能の集積が進んでいます。

基幹産業である工業は、化学、精密機械工業を中心に市の発展に貢献してきましたが、新たに東部工業団地内企業やビール工場より発展が期待されていますが、更なる発展を目指し工業振興を進めて行く必要があると考えます。

また、豊富にある花のエリアや観光資源を活用しての観光地作りを進めるが、富士箱根方面への回遊ルートの新規創設を図り、観光客の増加、地域の活性化により、金太郎のふるさととしての観光地づくりが期待されます。

・このような市の特性をいかしながら、自然と共生するうるおいと安らぎのある都市環境を作りあげるとともに、歴史と調和した新しい文化を創造し、市民があんしん安全・健康でいきいきとして活動するまちづくりを進めて行く。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

神奈川県 南足柄市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 ・地域活力の向上	・橋梁の耐震対策及び長寿命化対策工事 ・市道関本雨坪線歩道整備工事 ・都市計画道路和田河原・開成・大井線の拡幅整備	・市の中央を縦貫して狩川が流下しており、地震時には落橋により交通が分断される危険性が高い状況にある、橋梁の耐震対策工事実施により避難路及び緊急輸送路の確保を図る事により、住民の安全確保とともに速やかな救助・復旧活動が出来る。 ・大雄山駅前から市役所に向けての道路は、駅及び小中学校・市民会館等に向かう歩行者が数多く、車両と交錯し通行に危険な状況にある、歩道整備と併せて一方通行化することにより、良好な歩行空間の確保とバリアフリー化により安心安全な交通の確保が図れる。 ・国道255号と本市を結ぶ広域幹線道路である本路線の整備により、利便性の向上・渋滞の解消は基より、産業・観光道路として重要な役割を担い地域発展と活性化に寄与する路線である。	